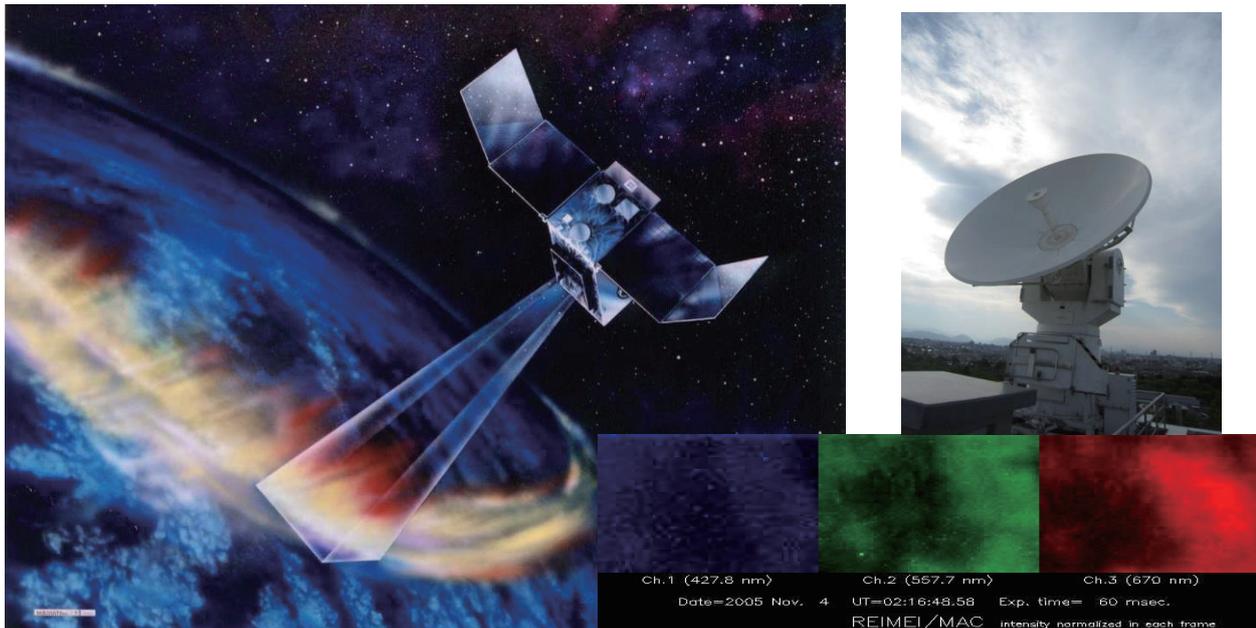


小型科学衛星「れいめい」

ちいさな巨人



「れいめい」によるオーロラ観測のイメージと観測データの一例、運用局アンテナ

「れいめい」は、オーロラ観測と新規衛星技術の軌道上実証を主目的とする、小型科学観測衛星です。2005年8月24日に、カザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地よりドニエプルロケットによって打ち上げられ、現在も稼働中です。

衛星は一般に大型・複雑化の傾向にあり、開発期間は長期化、開発費も高騰します。これに対し「れいめい」は、短期間・低コストでの開発を目指しました。新規技術の導入・軌道上実証、本格的な理学ミッションの遂行を高い次元で両立することを目指しました。若手技術者・科学者の育成にも力を入れました。

日々の運用は、宇宙科学研究所が所有する運用局設備およびアンテナを使って行います。衛星運用の自動化や遠隔化の実験も行っています。

「あけぼの」、「Geotail」などの衛星や地上のオーロラ観測網との共同観測も随時行っています。

◆詳しくはコチラへアクセス→
<http://www.index.isas.jaxa.jp/>



「れいめい」の プロマネに聞く

- Q1. お名前をおしえてください。
A1. 齋藤宏文です。
- Q2. どんなお仕事をされていますか？
A2. 2005年までは「れいめい」を開発してきました。現在は、小型衛星で、大型衛星に匹敵する性能でレーダ地球観測を行う機器を開発しています。
- Q3. 何をしている時が一番楽しいですか？
A3. 夕食とワインを愛妻と共にしている時。庭の苔の世話をしている時。
- Q4. 「れいめい」の魅力を一言で言うと？
A4. メーカーに作ってもらうのではなく自分達で衛星を作ったという実感があるところ。
- Q5. 皆さんへのメッセージを！
A5. 人のためになる仕事を楽しくできるように、自分の能力を高めてください。